

あわらし市【メタバース等を活用した防災対策】

(1) 地域課題分野

[] ①交通、[✓] ②防災、[] ③環境、[] ④健康福祉、[✓] ⑤産業、[] ⑥農林水産、[] ⑦教育、[] ⑧行政、[] ⑨観光・文化、[] ⑩その他

(2) 課題

- ・大型の台風やゲリラ豪雨などの異常気象がもたらす災害等の頻度が増加傾向にある中、災害は複数の自治体をまたがることも多い。
- ・市単独ではなく、県内全域での災害シミュレーションやVRを活用した防災訓練など、災害情報を可視化することで、市民の防災意識の向上につなげたい。

(3) 現状

- ・市民の防災意識の向上に関する事業として、年1回の防災訓練や地域の自主的な防災訓練を実施。
- ・市民アンケート「災害に強いまちだと考える市民の割合」は37.9%(令和3年度)
- ・自主防災組織率(109区/129区) 84.5%(令和3年度)

(4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
あわらし市防災士会	市防災士のとりまとめ
あわらし市防災安全対策室	防災担当部署
福井県危機対策・防災課	県内防災対策のとりまとめ
警察・消防・自衛隊	被災者の避難誘導、救出作業など
気象庁	災害情報の提供
全市民	防災意識を持つ当事者

(5) 地域課題解決の糸口

- ・メタバースを活用した災害対策シミュレーションや、VRを活用した防災訓練などを実施することで、災害情報を可視化し、市民の防災意識向上に寄与できないか。

(6) 提供可能な資産・データ

- ・VRを活用した防災訓練などの場合、ブースの提供
- ・市広報やホームページ、PRTIMESなどを活用した市民への周知